

令和7年度

マンガで読める！

finance

わかりやすい 北九州市の

財政



はじめに

令和6年度は、北九州市の可能性・ポテンシャルの「見える化」に取り組み、その成果が形として表れ始めた一年でした。

具体的な成果として、北九州空港や北九州港フェリーの貨物量、U・Iターン就職者、小倉城入場者数、モノレール輸送人員、ふるさと納税寄附金のすべてが市政の歴史上過去最高となりました。これは先人のご努力、そして北九州市が持つ人と人との「つながり」、熱い「情熱」、確かな「技術」力の賜物だと考えています。

とりわけ、令和6年における人口の社会動態が1964年以来60年ぶりにプラスとなったことは潮目の変化を示しています。

一方で、令和6年度の決算については、市税等は実質的に増収となりましたが、物価高の影響や扶助費、人件費、公債費などの歳出の増加が市税等の増収を大幅に上回りました。

また、政令指定都市で一番多い市民一人当たりの公共施設保有量による維持管理費など、本市が抱える課題が山積であることも事実です。

だからこそ、「稼げるまち」を創らなければならない、と考えます。

- ・財政の模様替えを行い、成長につながる分野に予算を移す。
- ・企業を呼び込み、投資を増やし、経済成長を促す。

それにより、財政を改善し、「彩りあるまち」「安らぐまち」を成長の果実として、市民の皆様へ提供する。

そのためには、まず財源を作らなければならない。財源がなければ、市民の皆様へ医療・福祉・文化・教育を十分に提供することもできません。

「強くなければ、優しくなれない。」を信念に、北九州市を豊かにし、市民の皆様を守るためにも、「稼げるまち」に取り組んでまいります。

「行動が、未来を動かす。」

これまでの北九州市の経済成長は市民の皆様のアクションによるものでした。

これからも、北九州市はAction!を合言葉に、未来の社会のために行動します。

現在のロゴの色は、パワフルで情熱的な赤を使用しました。

市民の皆様と一緒に、一歩ずつ未来を動かす意思をデザインしています。

つながりと情熱と技術で進みつづけるグローバル挑戦都市・北九州市を市民の皆様と一緒に目指しましょう。

Kitakyushu
Action!

動かせ、未来。北九州市

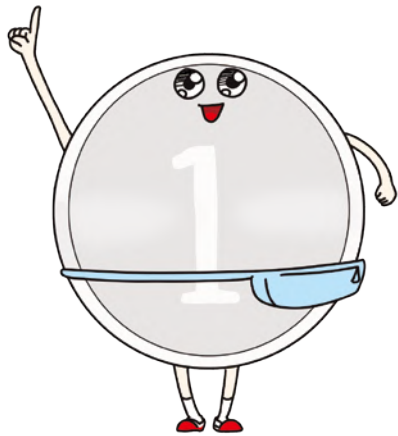


北九州市長 武内 和久

ー も く じ ー

登場人物紹介・プロローグ	1～2
令和6年度の特徴	3～4
市の現状	5～6
取組① 市政変革	7～10
取組② 令和7年度予算の特徴	
1. ボートレースによる未来のまちづくり投資基金	11
2. 次世代投資枠の事業	11
(1) 若者や子ども等への投資	12
(2) 産業基盤の強化・創出への投資	13
(3) 公共施設等の老朽化対策への持続可能なまちづくり投資	13
(4) その他の次世代投資枠	14
エピローグ	15～16
参考資料	
令和6年度決算（一般会計）の内訳	17
令和7年度当初予算（一般会計）の内訳	18
一般会計歳入決算額の推移、 市民1人当たりの市税収入と歳入に占める割合	19
地方交付税等決算額の推移、 市民1人当たりの地方交付税等と歳入に占める割合	20
一般会計歳出決算額の推移、 福祉・医療関係経費決算額の推移	21
投資的経費決算額と市民1人当たりの投資的経費の推移、 市債残高の推移、市民1人当たりの市債残高の推移	22
市民一人当たりの公共施設保有量、経常収支比率	23
中期財政見通し	24
令和6年度特別会計・企業会計決算	25
健全化判断比率等	26
財務書類	27

登場人物紹介

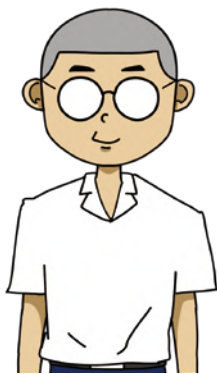


ざい吉

- ・財政について理解していない人にだけ見える妖精
- ・去年妖精テストに合格し、今年は正式な妖精として活動をしている

(前作で妖精テスト合格時に500円玉になったが、先輩からの目が気になるので謙虚に一円玉の姿のままでいるようにした)

※詳しくは令和6年度版を読んでみてね



ぜい が さき はちろう 税ヶ崎 八郎

- ・中学2年生
- ・真面目だがグチっぽい
- ・入江に片想いをしている
唯一話しかけたことは「消しゴム落ちてたよ」



いり え 入江 このみ

- ・税ヶ崎のクラスメイト
- ・クラスのマドンナ的存在

漫画家プロフィール

三崎てるひこ

北九州市出身・在住
COLT TOKIWA創所属

2018年日中韓新人MANGA選手権 銀賞受賞
西鉄バス「月刊にしてつバスっちゃ!北九州~ぶらりバスの旅・キタキュ~物語~」
漫画連載(現在休刊中)
第9回 北九州国際マンガ大賞 漫画ミュージアム賞受賞
ギャグ漫画、イラスト、似顔絵・臨床心理士もやってます



『マンガで読める! わかりやすい北九州市の財政』 過去の作品も公開中!



令和4年度



令和5年度

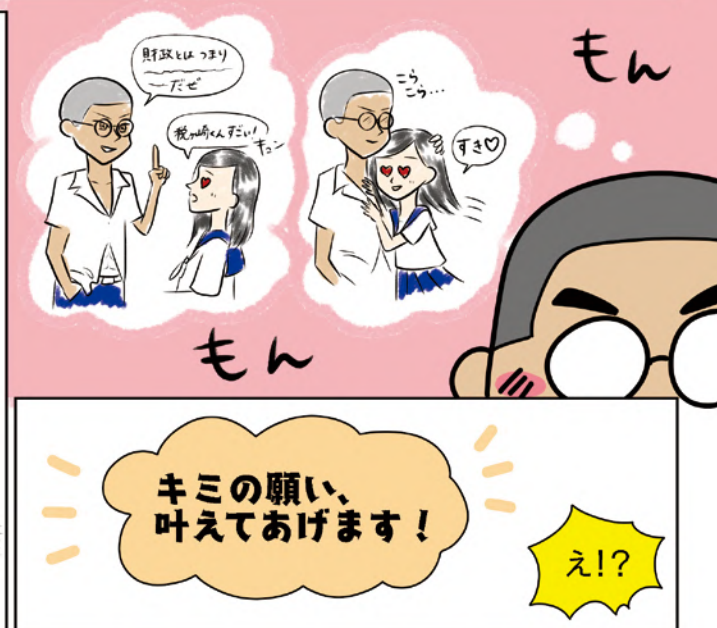
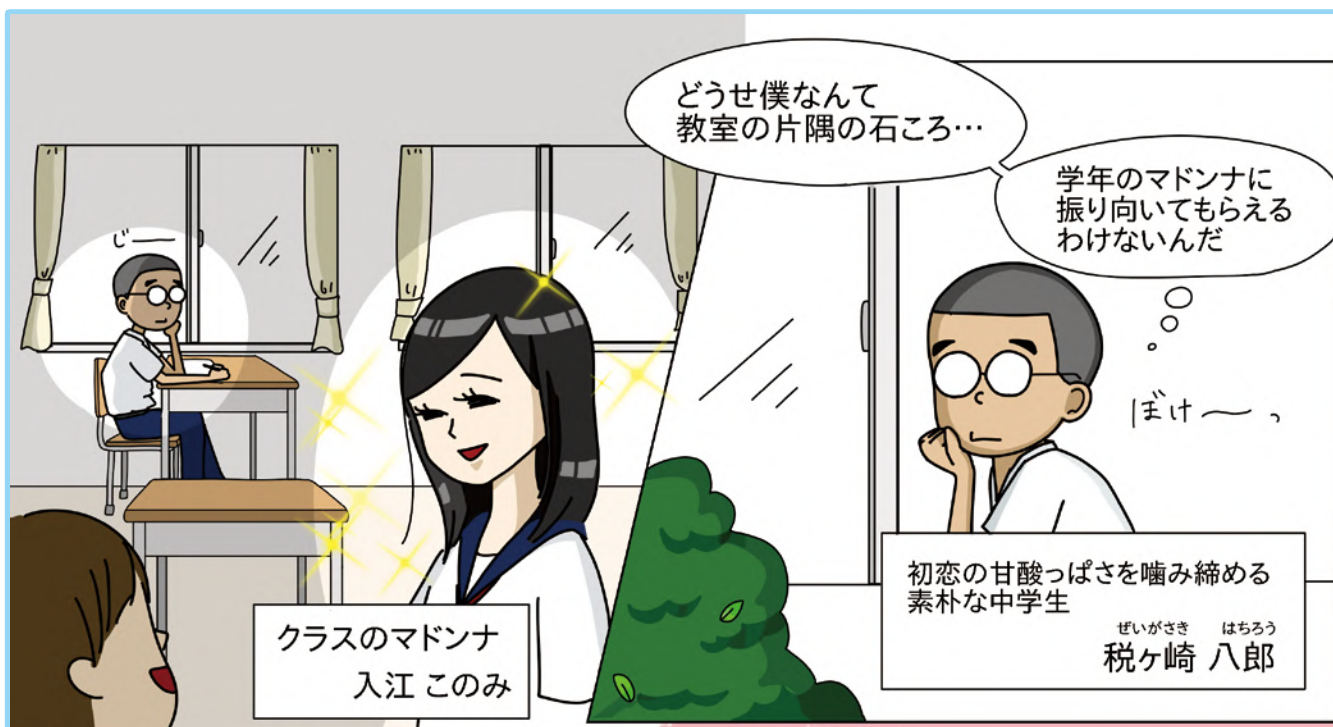


令和6年度

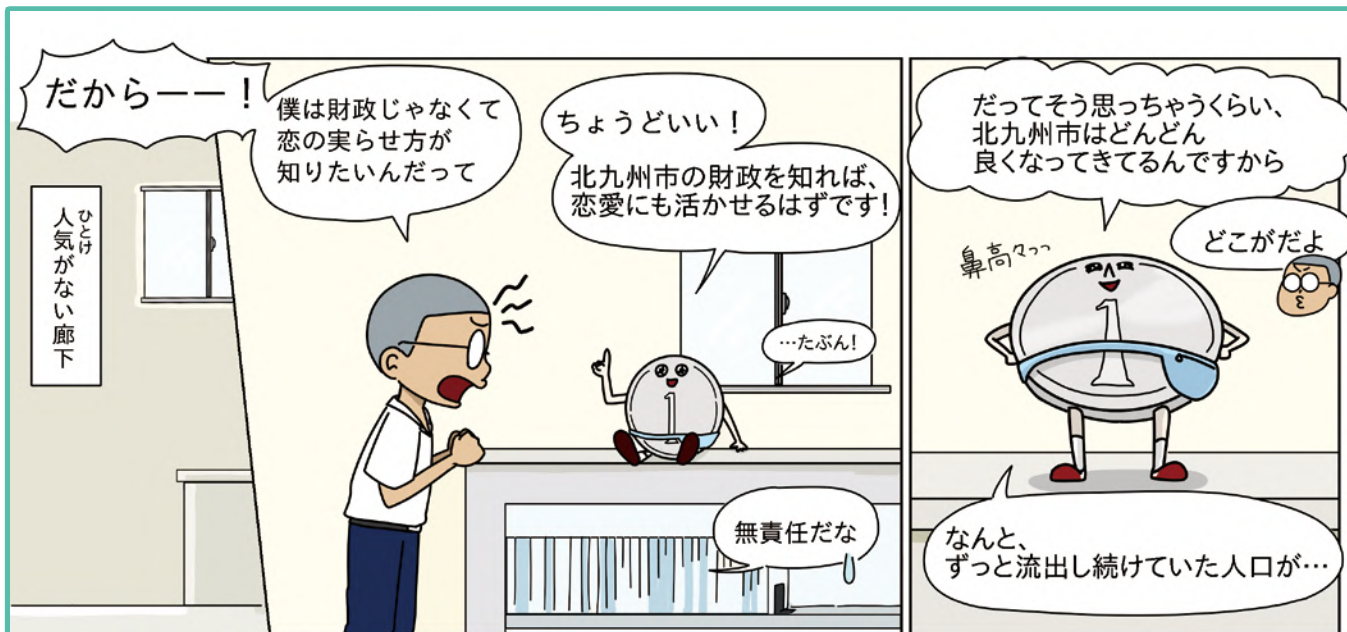
こちらで読めます!



プロローグ



令和6年度の特徴



60年ぶりに、「人口転入超過※」を達成したんですよー!!

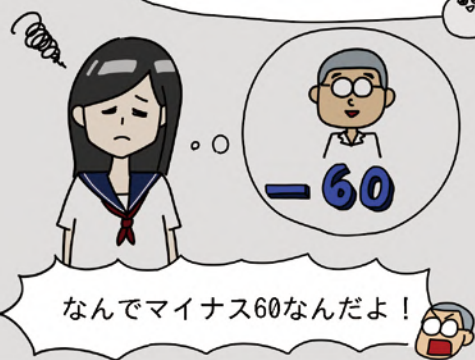


他にも色々と過去最高を記録しているんです! 教えてあげますね!



税ヶ崎も、入江さんからの評価が減り続けて、今マイナス60くらいでしょ?

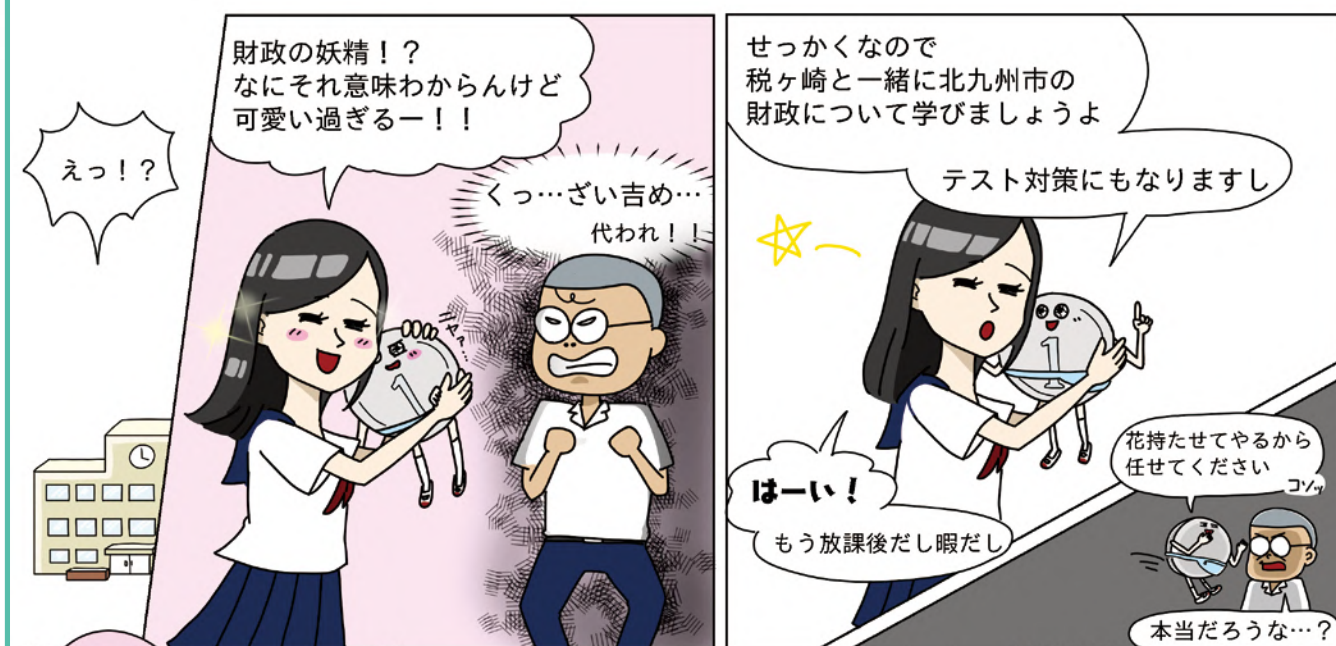
そしたら北九州市がやったことを参考にすればイメージアップするんじゃない?



あれ? 税ヶ崎くん何してるの?



※人口転入超過…市外から引っ越してくる人(転入者)の数が市外に引っ越していく人(転出者)の数を上回ること(令和6年に人口転入超過を達成)



さて！

R6年度は、他にも過去最高をいくつも達成しています！

小倉城の入場者



約30万人

ふるさと納税



24.7億円

U・Iターン就職決定者256人



(H27比較で約2倍)

港・空港の貨物取扱量

フェリー貨物量
5,292万トン航空貨物量
36,603トシ

などなど

おりゃー!!

これらを支えているのが
財政なのです!!!その他にも、
国際会議やスポーツの国際大会も
たくさん開催されました！

おー!!

急に
ムキムキ!!そして!!
税ヶ崎のお年玉の総額も
過去最高でした!!あんたにやって
なかったね孫が多くて
誰にやったか
分らんよばあちゃんが間違って
2回くれたのを
黙って受け取ったんですよね

ありがとー

なんで知ってるの!!!

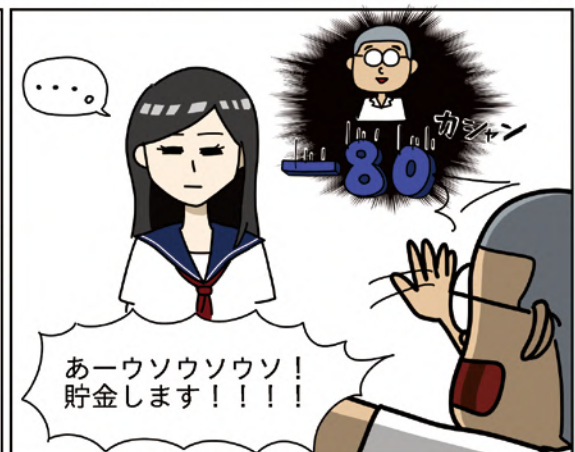
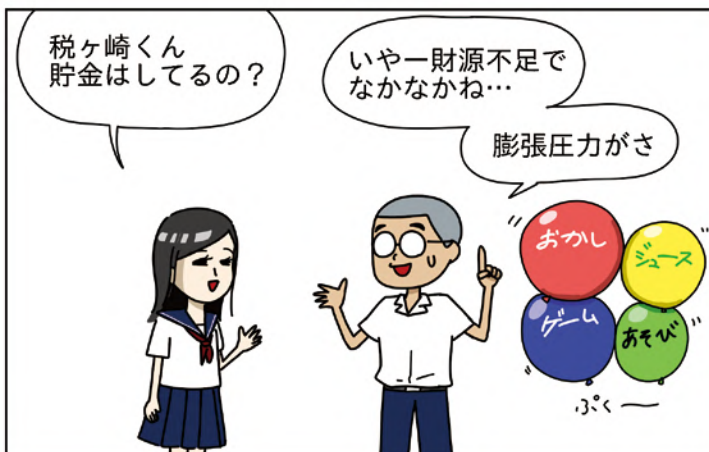
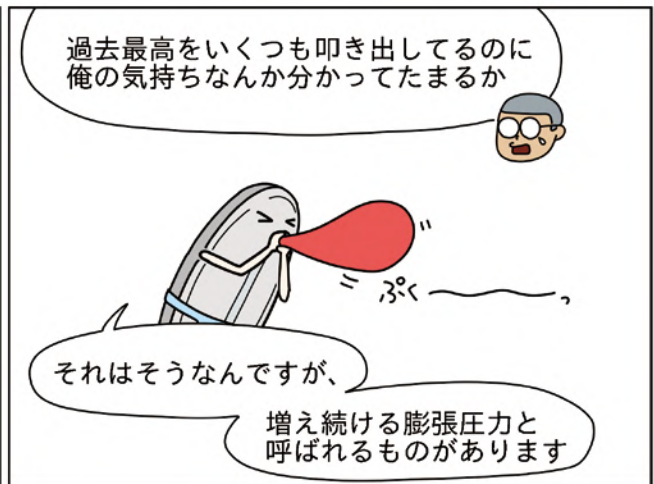
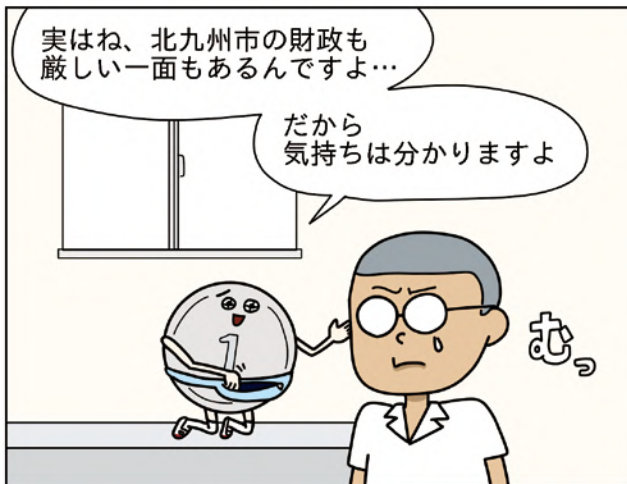
ドン引き

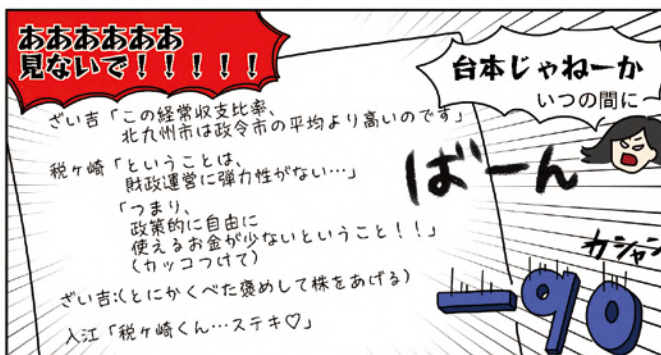
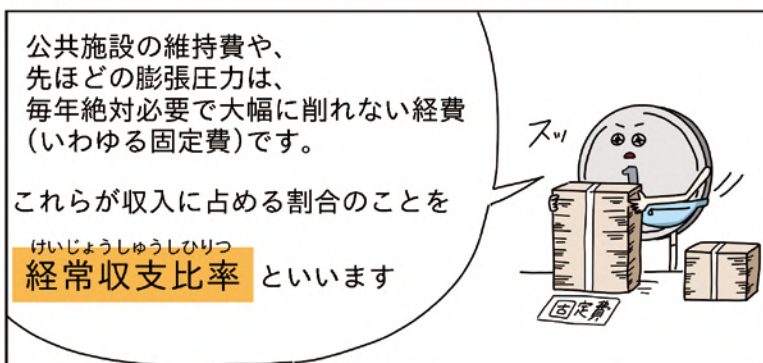
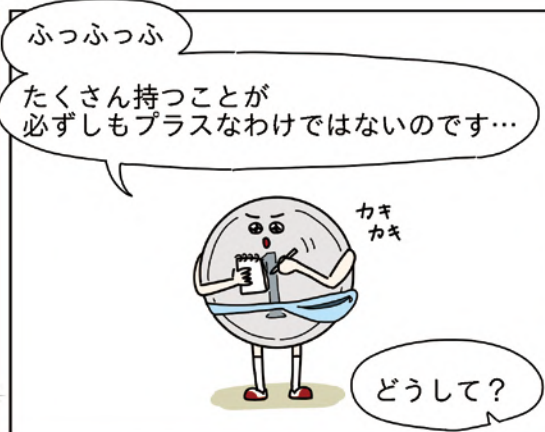
うわあ…

-70
カシム!

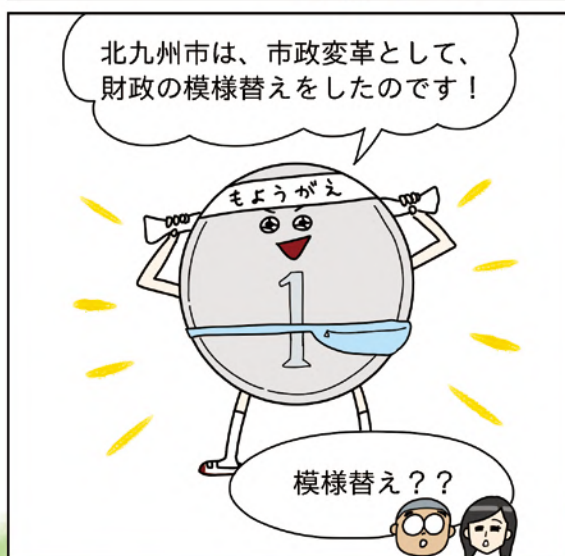
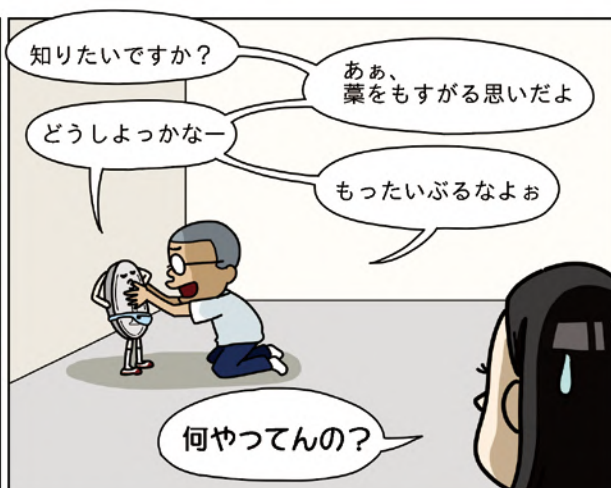
マイナス増えちゃったじゃん!!!

市の現状





取組① 市政変革



このままでは医療・福祉の膨張圧力、公共施設やインフラの維持などの課題が増加し、市債も増える一方です

改革
スタート!

そこで、北九州市は「削る改革」ではなく、「創る改革」に取り組んでいるのです!



短中期

財政の模様替え

↓
次世代投資枠の確保!!

- 9 若者や子どもへの投資
- 9 産業基盤の強化、創出
- 9 公共施設の老朽化対策 など



中長期

市債発行の抑制

↓
持続可能な
経済状況の確保!!

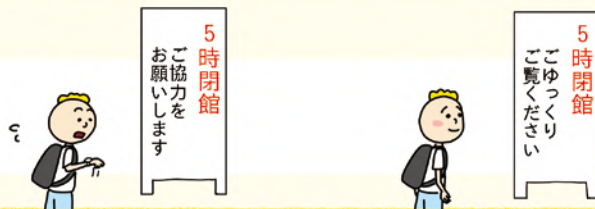


実際に、市政変革で成果って出てるの？

よくぞ聞いてくれました！！

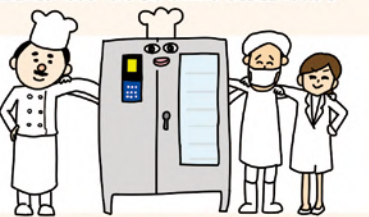
①ユーザー目線による現場改善

案内文やレイアウトの見直し



②おいしい給食大作戦(次世代投資枠)

専門家&
スチーム
コンベクション
オープン



③働きやすい職場づくり

週休3日制が可能な
フレックス制を全面試行
&
公務能率アップのため
軽装勤務の実施



救急隊員出動時の
コンビニ利用ルールの
明確化

救急隊員
店舗利用中

本庁女性用トイレの
増設予算の計上



など

④公共施設マネジメント

「減らす」だけではなく
新たな価値の創出

建替



複合化



民間譲渡



など...

⑤持続可能な公民連携体制

これまでの「管理型」の関係性から
「政策連携団体」を公民連携の
パートナーとして位置付け直し、
各団体の持つポテンシャルを
最大限に生かす

連携!!



→より良い市民サービスの提供へ



行政だけが頑張るのではなく、
市民や民間企業と連携することで
北九州市民に寄り添った政策になっているのです



私たちの未来に関わることだから、
“自分ごと化”しないといけない

自分たちの税金も
使われているしね





市政変革の取組

北九州市政変革推進プランの策定

次世代への投資等を行いつつ、行財政運営のあり方を再構築する「市政変革」の取り組みを進めるにあたり、市政変革の基本原則、見直しの視点、目標値、具体的な取組項目等を定めた計画を策定しました。

各局区による改革案磨き上げの場 X会議



局区X方針

局・区長が、経営者目線で変革すべき課題とその取組方針を定め、そのリーダーシップの下に変革の取り組みを進めました。



経営分析・事業分析

施策・事業等のまとめりと、客観的なデータや他都市事例等を踏まえて現状分析や課題の洗い出しを行い、変革の方向性を検討しました。



プラチナ市役所プロジェクト

職員発のアイデアを生かし、“働きやすさ”と“働きがい”の実現を図ることにより、市民サービスや市役所全体の労働生産性の向上に取り組みました。

令和6年度市政変革の成果

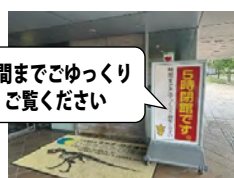
・ユーザー目線による現場改善

自然史・歴史博物館

来館者への寄り添いが不十分な看板のご案内の表現方法を改善



時間までごゆっくりご覧ください



美術館

エントランスホールのイーゼルを撤去し、ホールの景観を向上させた



・おいしい給食大作戦(次世代投資枠)

学校給食応援団の発足

料理人の方等から専門的な助言やメニューに関するご提案をいただく



スチームコンベクションオーブンの導入

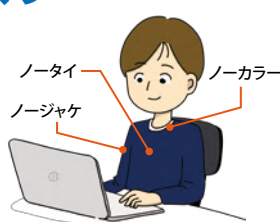
「煮る」「炒める」に加え「蒸す」「焼く」といった調理が可能、献立の幅が広がる



・働きやすい職場づくり



週休3日制”が可能なフレックスタイム制を全面試行



公務能率アップのため1年を通した軽装勤務の実施



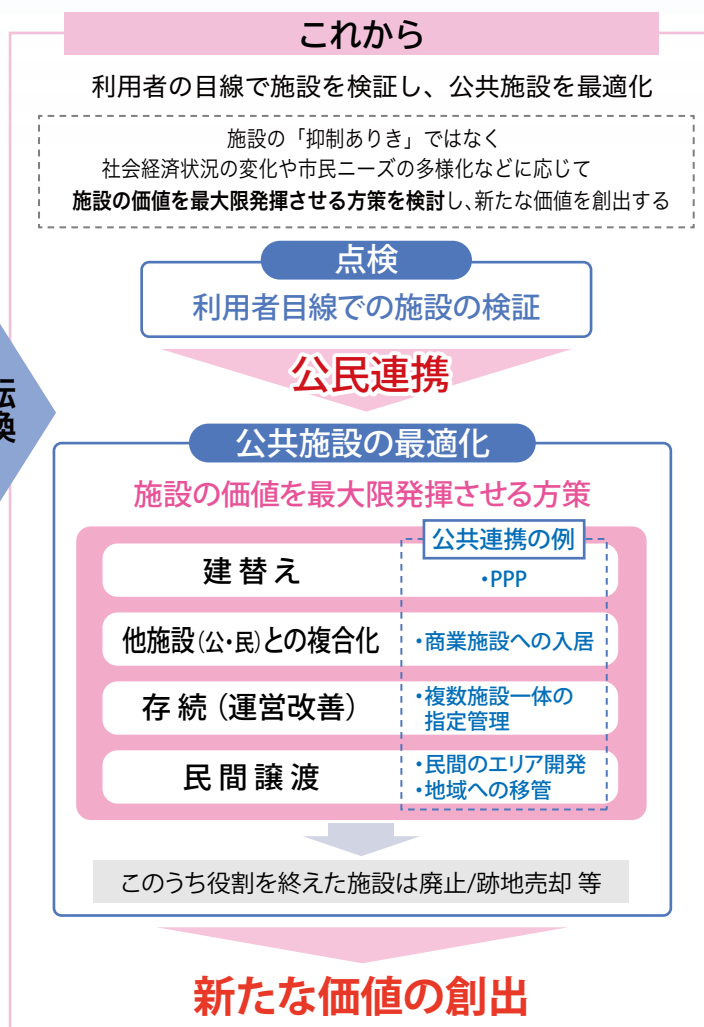
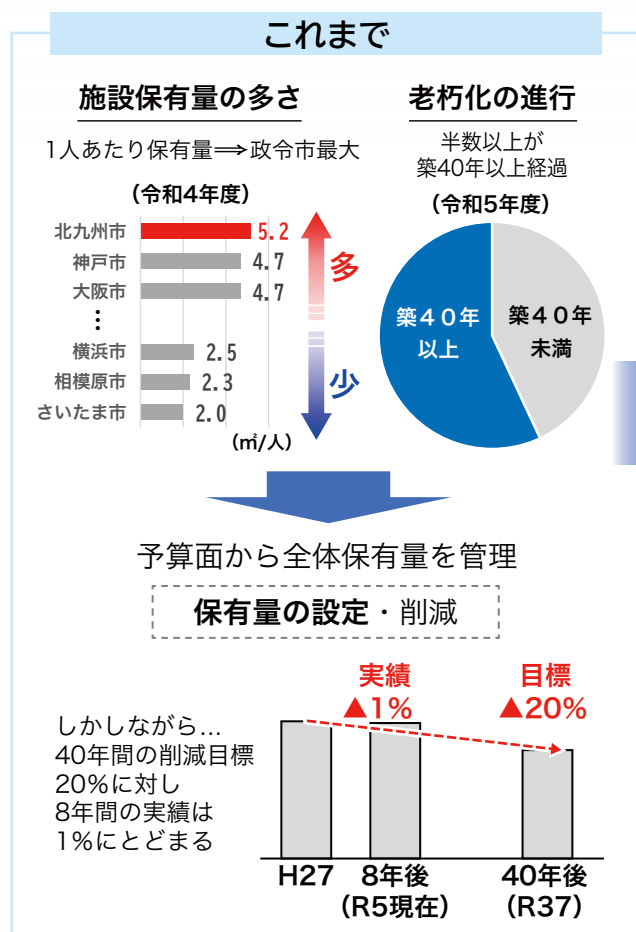
救急隊員出動時のコンビニ利用に関するルールの明確化



本庁舎女性用トイレ増設予算の計上

個室2個から4個へ改修

公共施設マネジメント



政策連携団体

取組① 市政変革

現 状

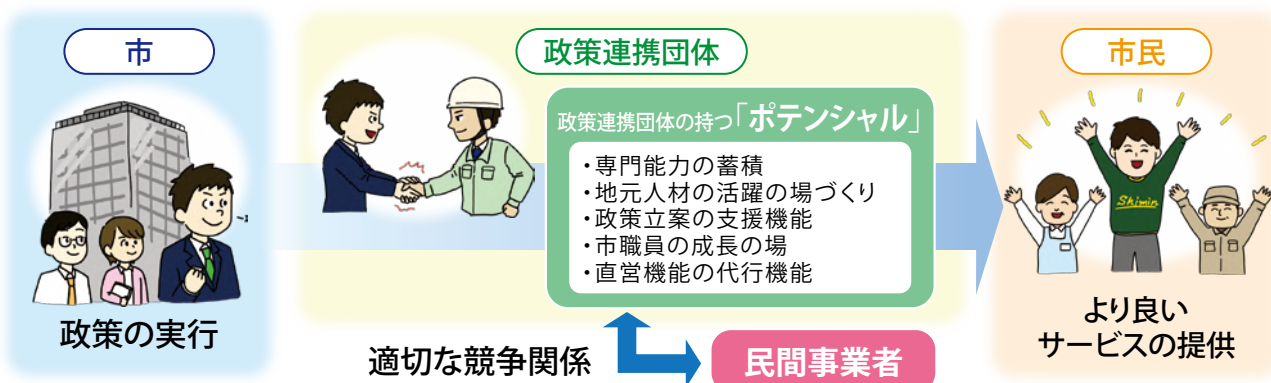
財政・変革局による、
管理型の総合調整を行う
「外郭団体」

見直し後

政策を担う「担当局」と
公民連携パートナーとなる
「政策連携団体」

・持続可能な公民連携体制

政策連携団体を「管理団体」から、市の政策の一翼を担う「公民連携の重要なパートナー」として位置付け直し、各団体の持つポテンシャルを最大限に生かしながら、より良い市民サービスの提供を目指します。



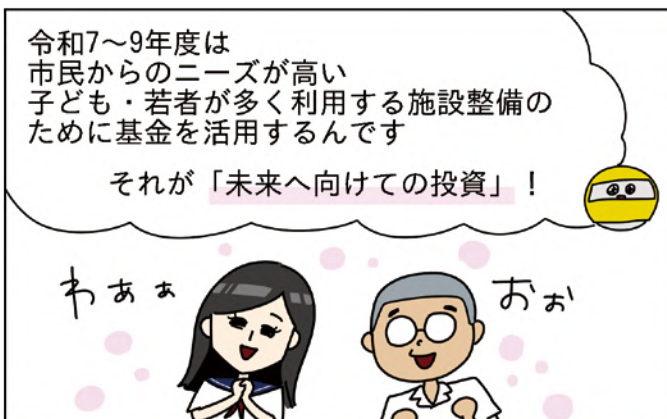
取組② 令和7年度予算の特色

1. 北九州市ボートレースによる未来のまちづくり投資基金

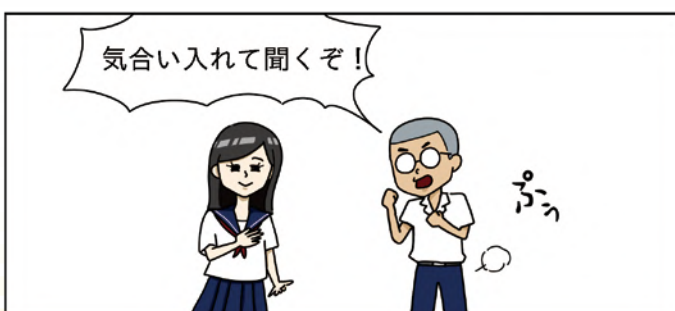
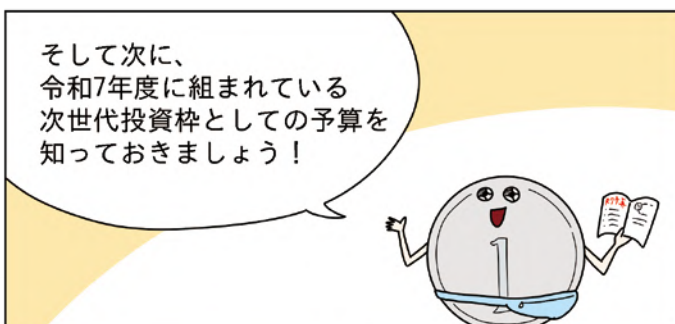
北九州市が人が集まる、選ばれるまちとして成長・発展していくためには、市民にとっての資産である公共施設の付加価値を向上させる投資が必要だが、財源の確保が課題であった。

モーターボート競走事業の剰余金を活用して、将来世代とも共有できるストック形成、「未来に向けたまちづくり」に投資し、取り組みを前倒し、加速化するために設置。

基金の規模
200億円



2. 次世代投資枠の事業



(2) 産業基盤の強化・創出への投資

企業立地促進補助金

..... 17億2,300万円

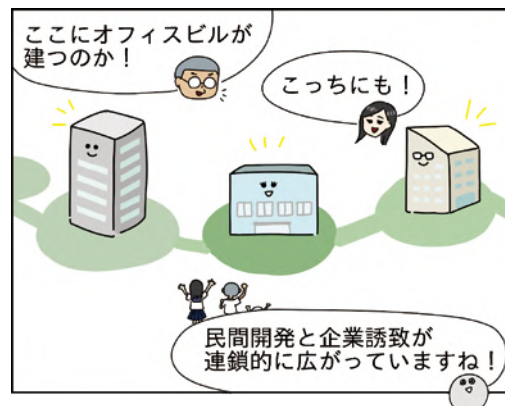
産業の振興及び雇用の創出を図るため、一定要件を満たす投資等に対するインセンティブとして補助金を交付し、市外からの企業誘致や市内企業の工場等の新設や増設を促進する。



リビテーション推進事業

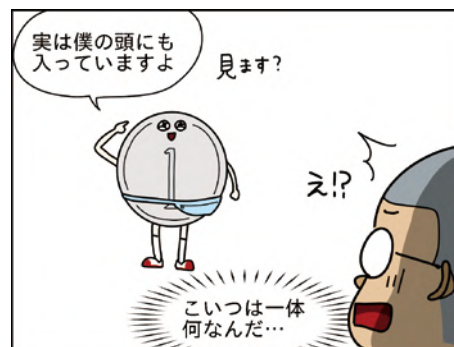
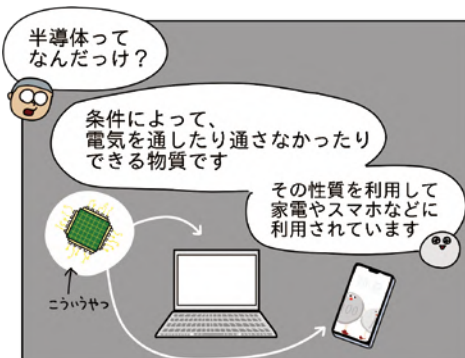
..... 4億9,100万円

小倉駅周辺等の民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図る「コクラ・クロサキ リビテーション」を推進するため、小倉北区京町三丁目14番地区において次世代仕様のオフィスビルの建設を行う者などに対して、整備費の一部を補助する。



半導体サプライヤー集積促進事業 2,300万円

半導体サプライチェーンの基盤を構築するため、サプライヤーの誘致計画を立てるとともに、製造受託企業や国内の関連企業に対して、トップセールスや誘致活動を実施する。



(3) 公共施設等の老朽化対策への持続可能なまちづくり投資

学校施設老朽化対策事業 27億1,900万円

安全で安心な教育環境を整備するため、「北九州市学校施設長寿命化計画」に基づき、大規模改修（長寿命化改修）及び外壁改修などの老朽化対策を実施する。



(4) その他の次世代投資枠

スマらく区役所サービスプロジェクト

..... 4億4,900万円

行政手続きにかかる時間をできる限り短縮し、快適・便利な行政サービスを提供するため、デジタル技術を活用した新たな窓口サービスの構築をフロントヤードからバックヤードまで総合的に進める。



女性にやさしい社会づくりに向けたウーマンヘルスケア推進事業

..... 1,100万円

女性にやさしい社会づくりに向け、女性自身の健康リテラシー向上と、女性の健康に配慮した職場環境を推進する取り組みを進める。



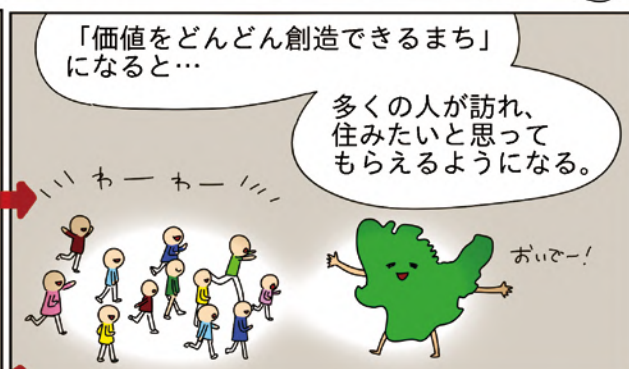
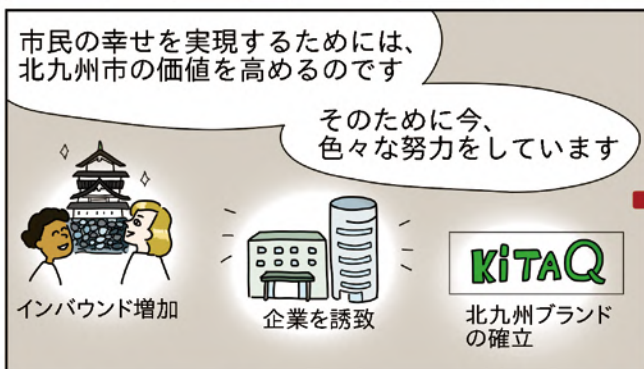
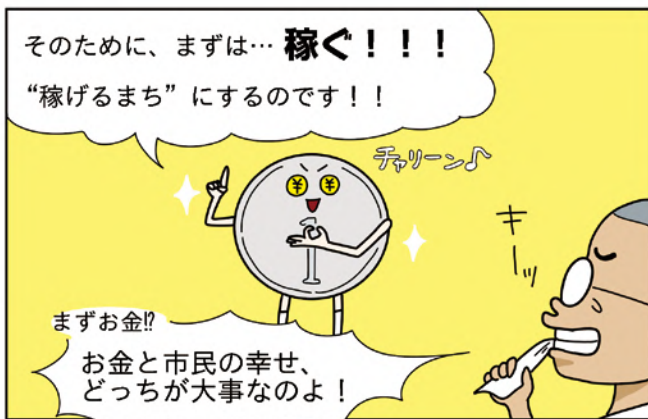
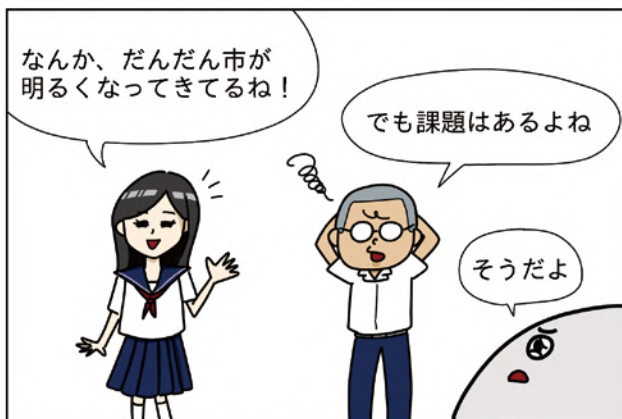
取組② 令和7年度予算の特色

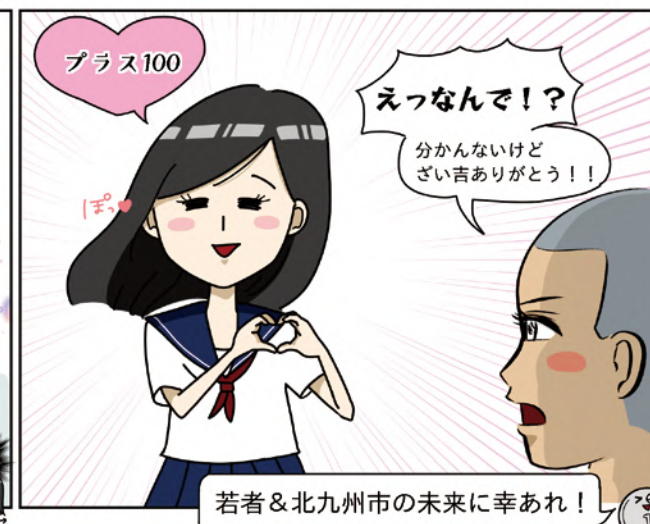
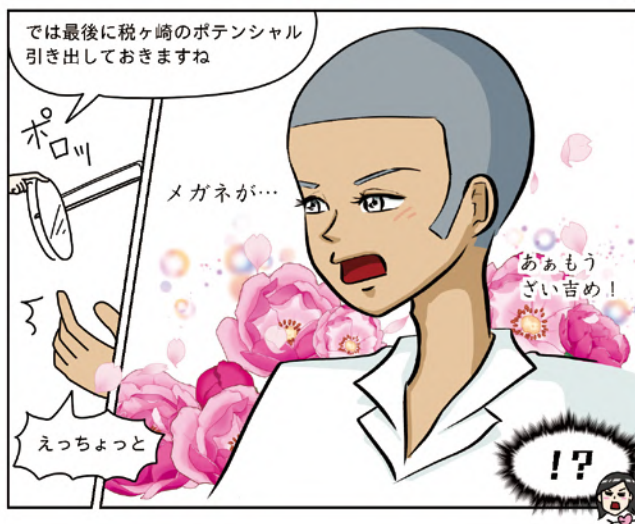
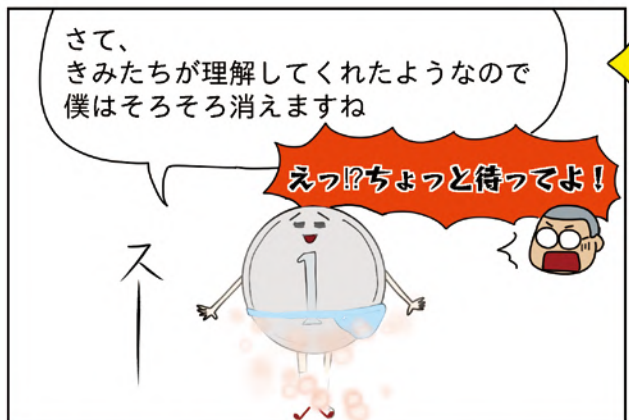
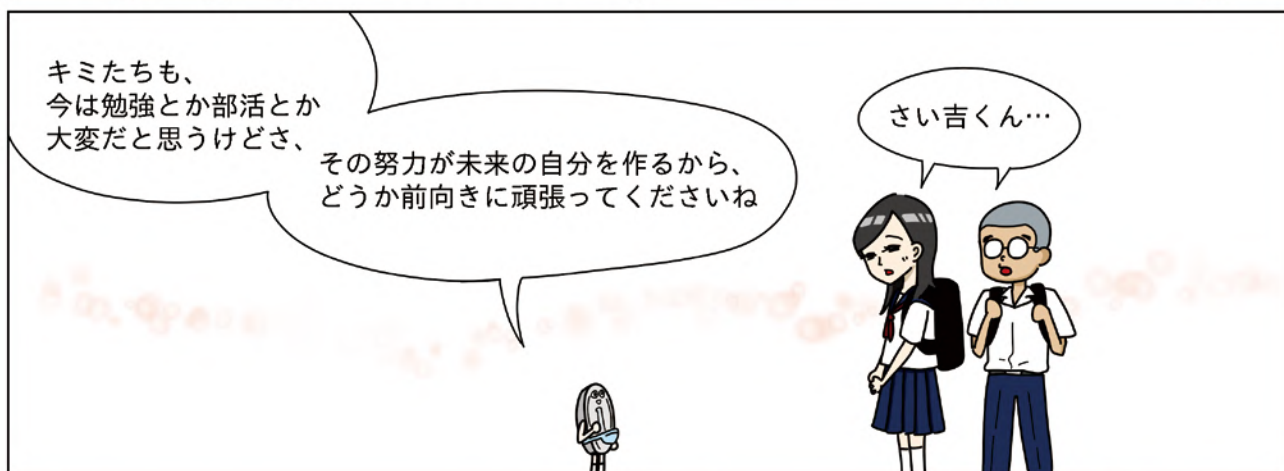
サステナブルシティ戦略推進事業

..... 8,200万円

企業と社会のサステナビリティを同時に進める「サステナブル経営認証制度」の運用をはじめ、市民・企業等の取り組みの更なる支援と、環境先進都市として積み重ねてきた北九州市のレガシーや市民力を基礎とした「サステナブルシティ（持続可能なまち）」を目指す戦略を策定する。





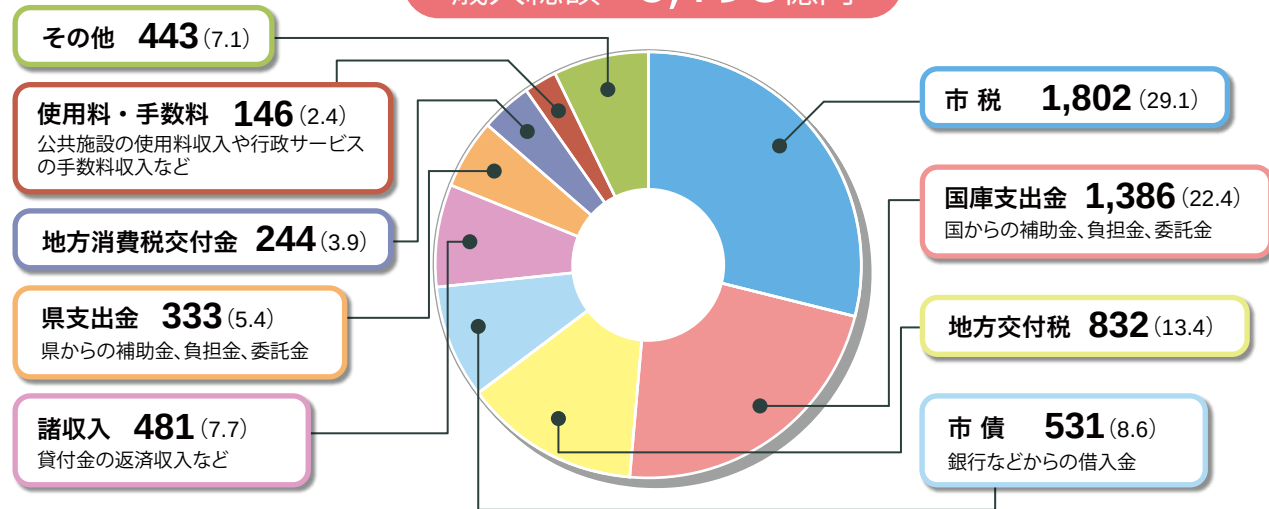


令和6年度決算(一般会計)の内訳

歳入決算の内訳

歳入総額 6,198億円

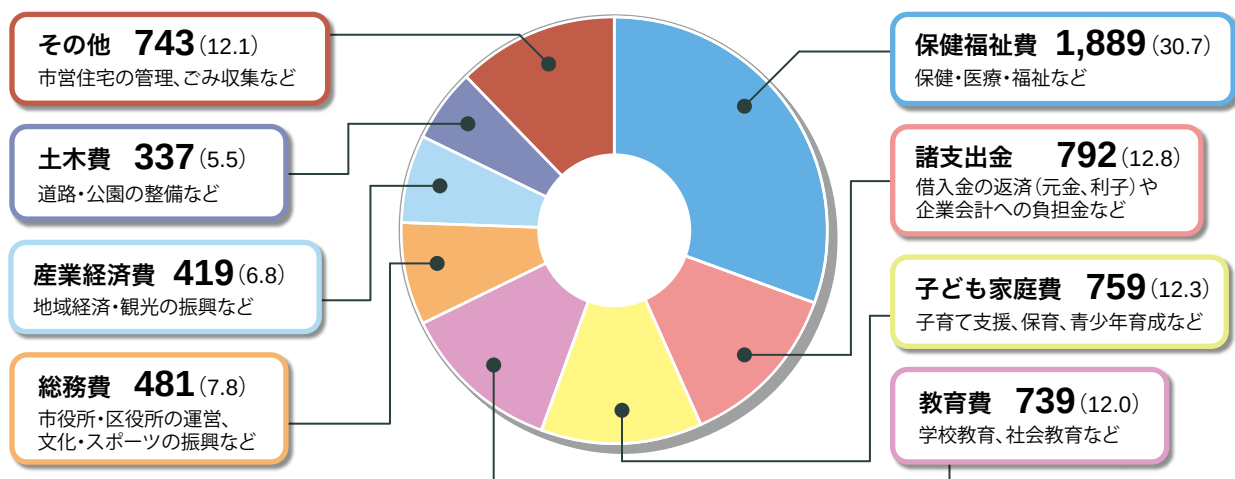
[単位: 億円
()内は構成比%]



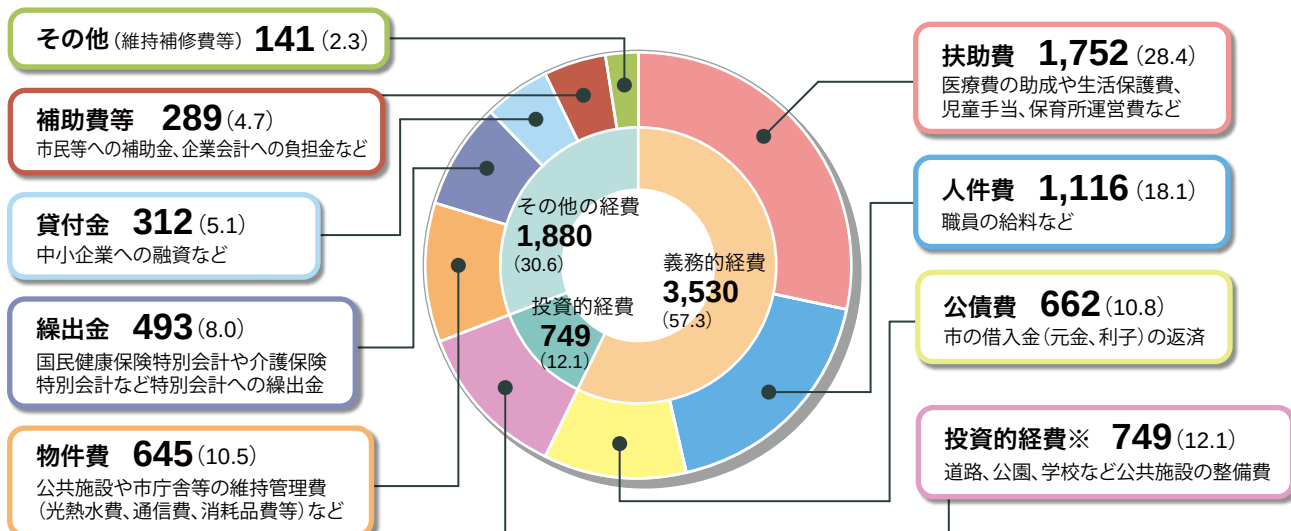
歳出決算の内訳

歳出総額 6,159億円

【目的別】教育費・土木費などの「行政目的」に従って分類すると次のようになります。



【性質別】人件費、扶助費などの「性質」に従って分類すると次のようになります。



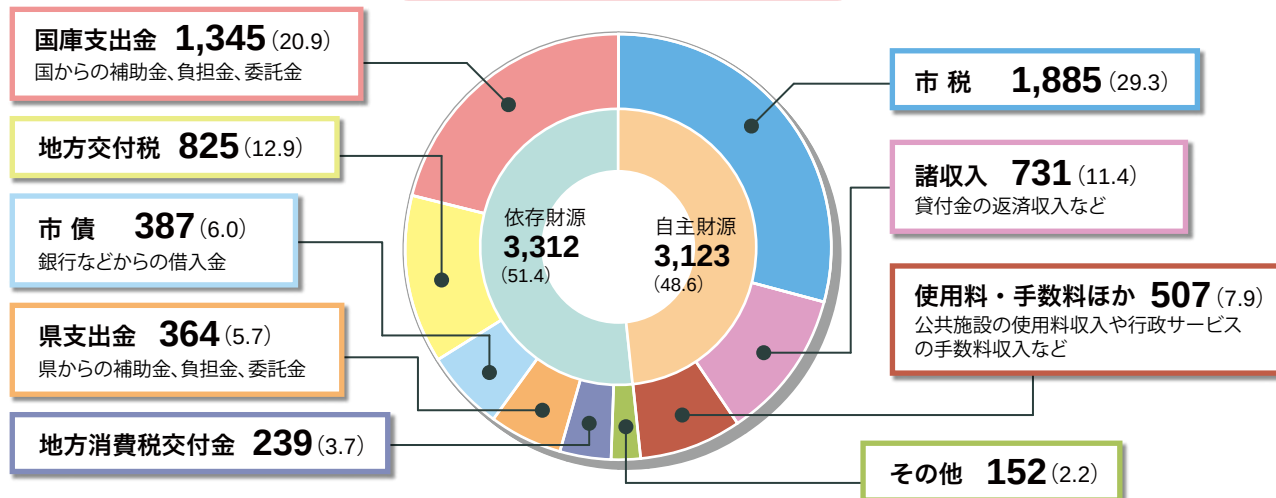
※投資的経費の予算調整方針(R4~R6年度)の例外である新日明工場建設事業を除けば536億円であり、投資的経費の適正水準範囲内(620億円/年)となっている。

令和7年度当初予算(一般会計)の内訳

歳入予算の内訳

歳入総額 6,435億円

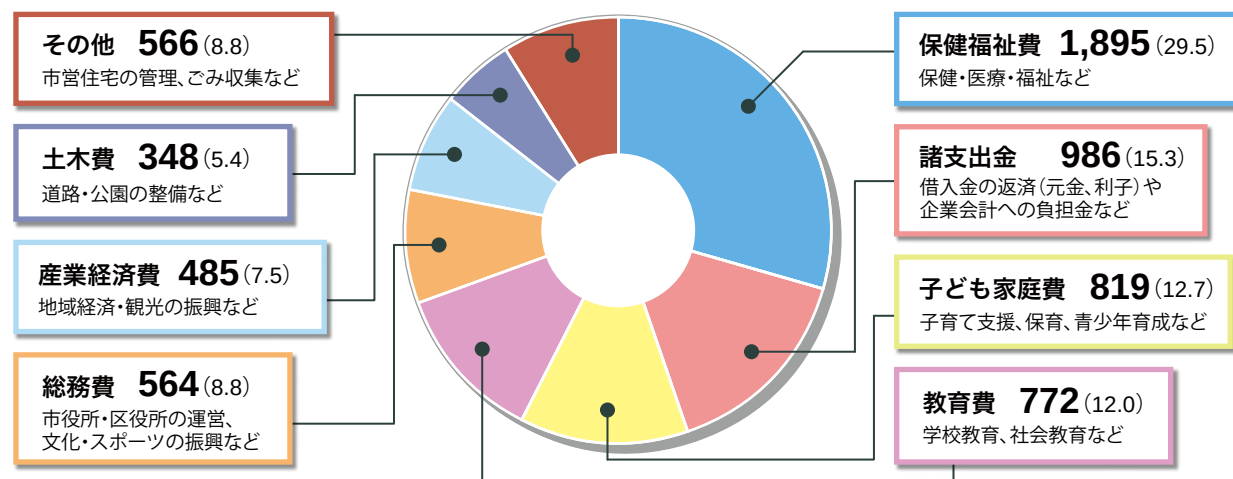
〔単位：億円
()内は構成比〕



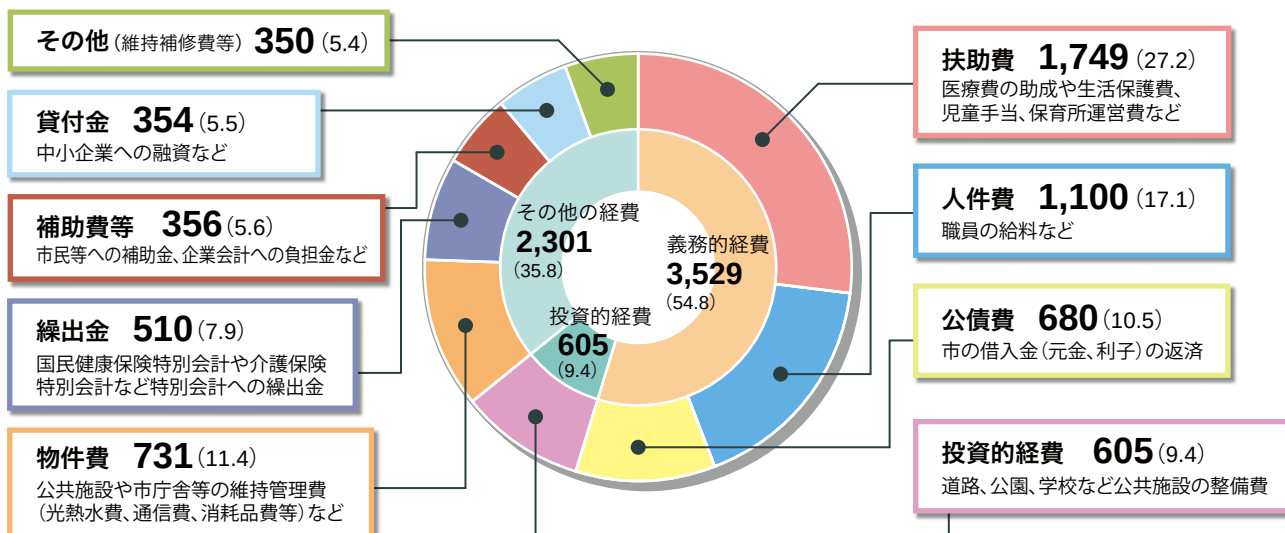
歳出予算の内訳

歳出総額 6,435億円

【目的別】教育費・土木費などの「行政目的」に従って分類すると次のようになります。

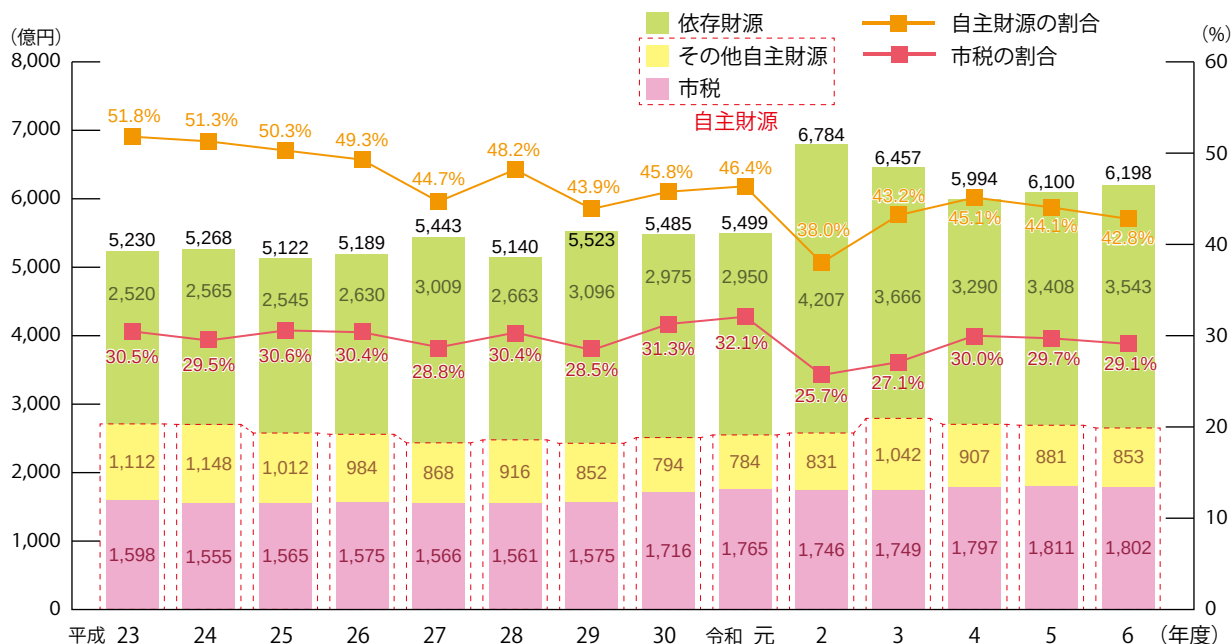


【性質別】人件費、扶助費などの「性質」に従って分類すると次のようになります。



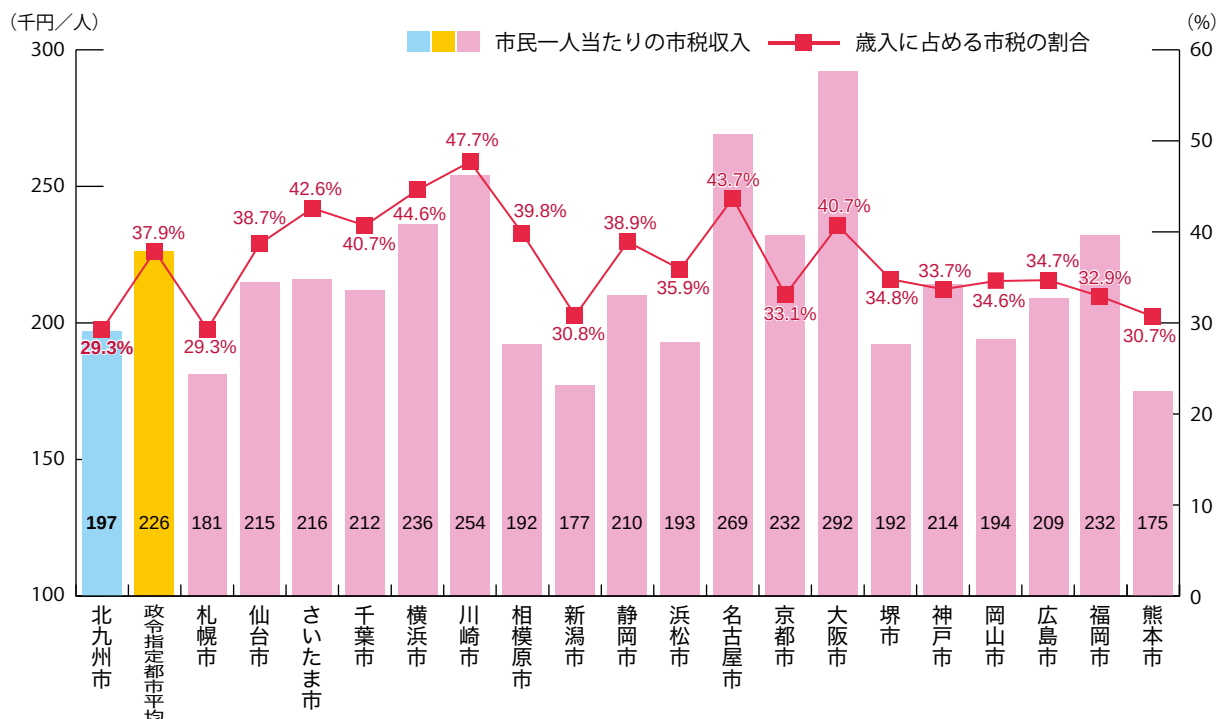
一般会計歳入決算額の推移

歳入に占める**自主財源**の割合は**40～50%程度**、**市税**の割合は**30%程度**で推移しています。



市民一人当たりの市税収入と歳入に占める割合 (普通会計／令和5年度決算)

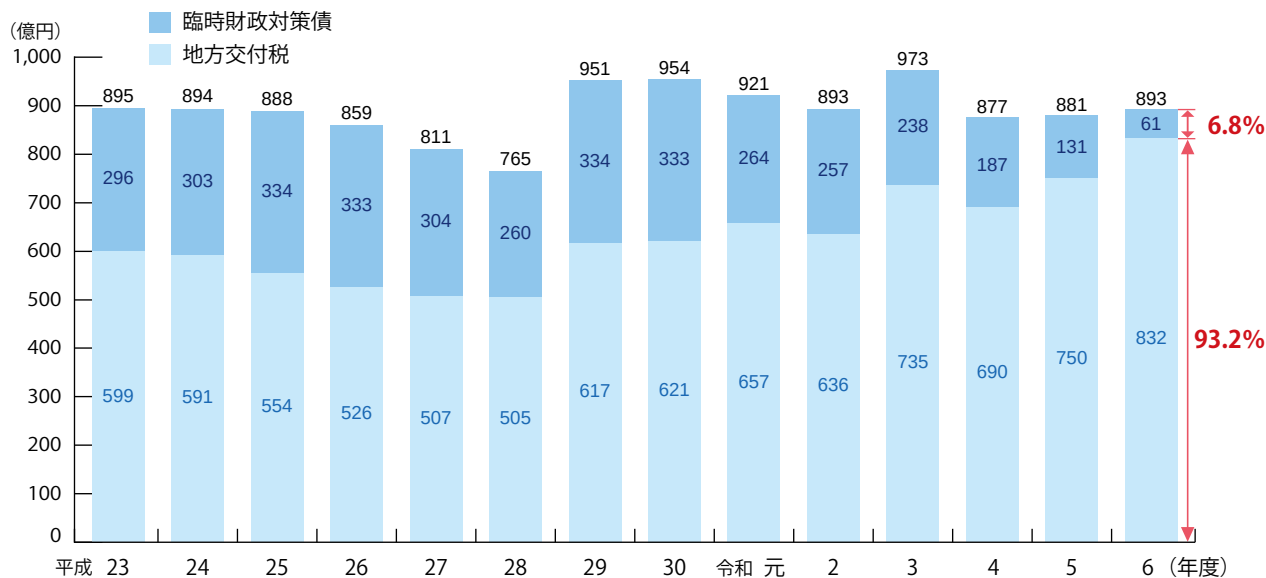
市民一人当たりの市税収入は**19万7千円**で、20政令指定都市中多い方から**13番目**、歳入に占める割合は**29.3%**で、20政令指定都市中高い方から**19番目**です。



※人口は、令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口を使用しています。

地方交付税等決算額の推移

地方交付税等（地方交付税と臨時財政対策債の合計）は、平成24年度以降減少傾向にありますが、平成29年度以降は、小学校等教職員に係る給与負担が県から移譲されたことに伴う影響等により増加しています。

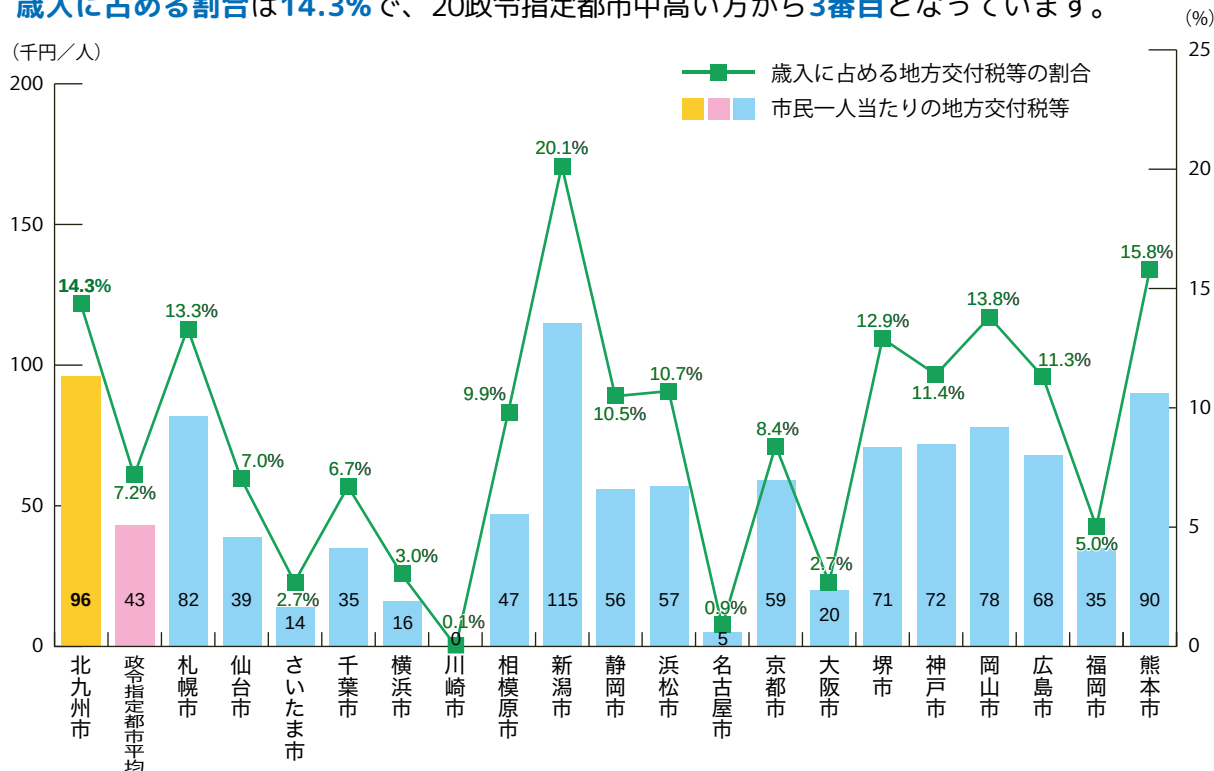


財政ひとくちメモ

【臨時財政対策債】国の地方交付税の財源不足対策として、本来地方交付税で交付されるものの一部を地方債（臨時財政対策債）として各地方公共団体が借入れます。その償還（返済）については、後年度、その全額が地方交付税で措置されます。

市民一人当たりの地方交付税等と歳入に占める割合 (普通会計／令和5年度決算)

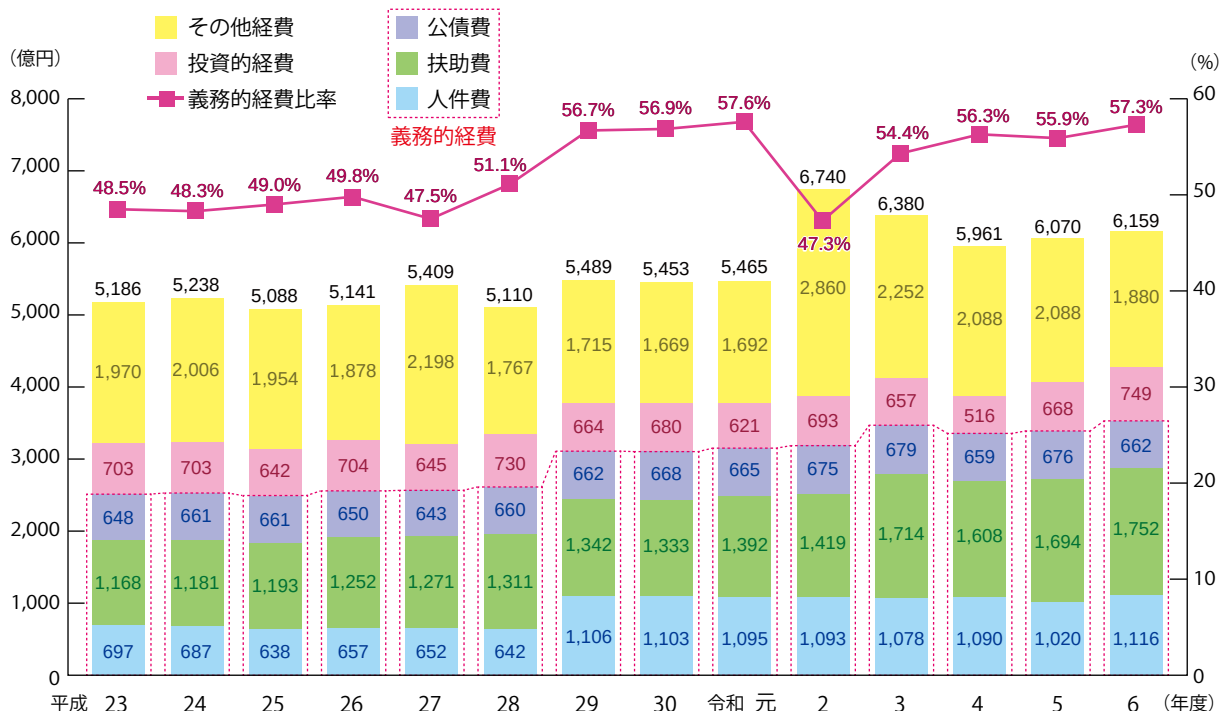
市民一人当たりの地方交付税等は9万6千円で、20政令指定都市中多い方から2番目、歳入に占める割合は14.3%で、20政令指定都市中高い方から3番目となっています。



※人口は、令和6年1月1日現在の住民基本台帳人口を使用しています。

一般会計歳出決算額(性質別)の推移

義務的経費は、令和2年度以降、新型コロナ関係給付金等の影響による増減はあるものの、**依然増加基調**にあります。



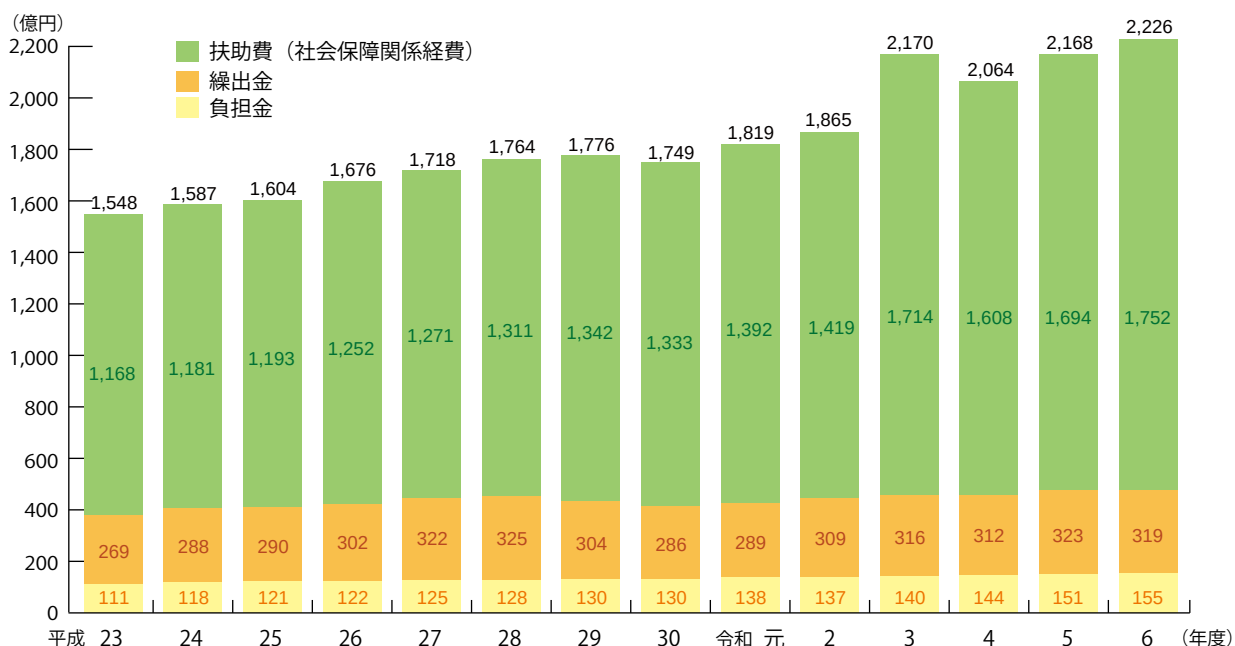
※令和2年度の義務的経費比率の減は、新型コロナ対策の実施に伴う義務的経費以外の歳出の増などによるものです。

財政ひとくちメモ

- 【扶助費】 福祉の法令等に基づいて実施する生活保護や障害福祉サービスの提供のほか、各種手当の支給、医療費の助成などに要する経費です。
- 【公債費】 市が発行した市債(借金)の毎年度の返済(元金、利子)に要する経費です。

福祉・医療関係経費決算額の推移

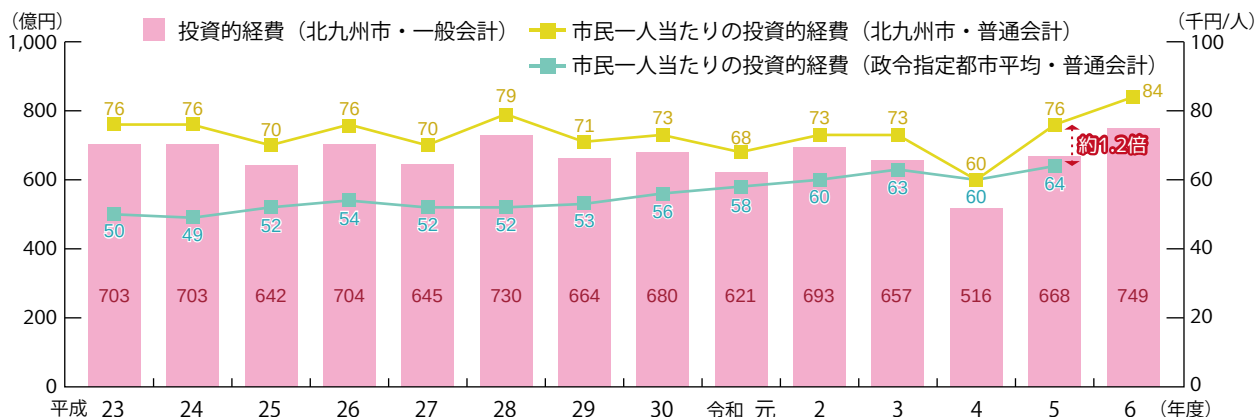
扶助費や国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療の特別会計への繰出金などの**福祉・医療関係経費**は**増加傾向**にあります。



※令和3年度の大増は、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金や、18歳以下の子どもへの給付金の支給等によるものです。
 ※令和4年度の大減は、18歳以下の子どもへの給付金の支給等が減少したことによるものです。

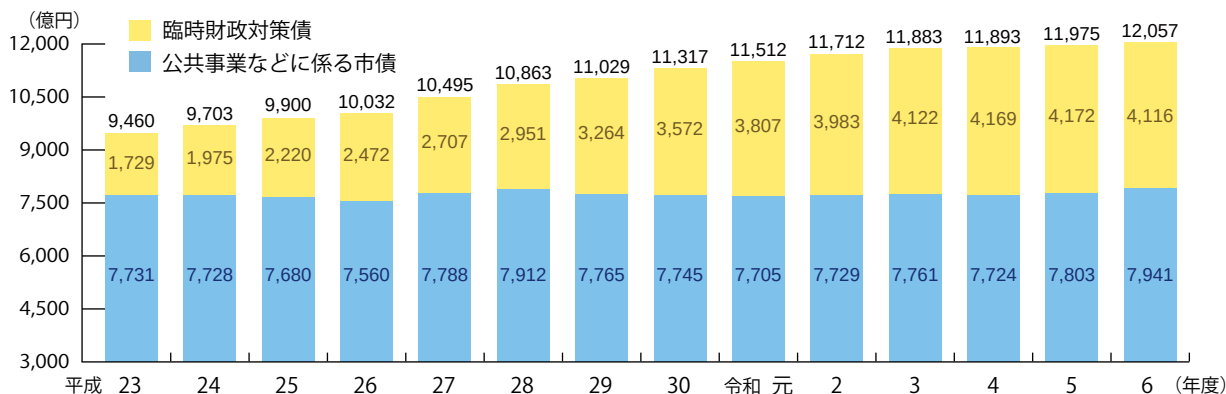
投資的経費決算額(一般会計)と 市民一人当たりの投資的経費(普通会計)の推移

投資的経費は近年700億円程度で推移していましたが、将来世代への負担軽減を図るため、令和7年度から適正水準を設け、650億円/年とする取組を始めています。



市債残高の推移(一般会計)

地方交付税の振替である臨時財政対策債の増加等により、市債残高は増加しています。臨時財政対策債を除いた公共事業などに係る市債残高は8,000億円程度で高止まりしています。

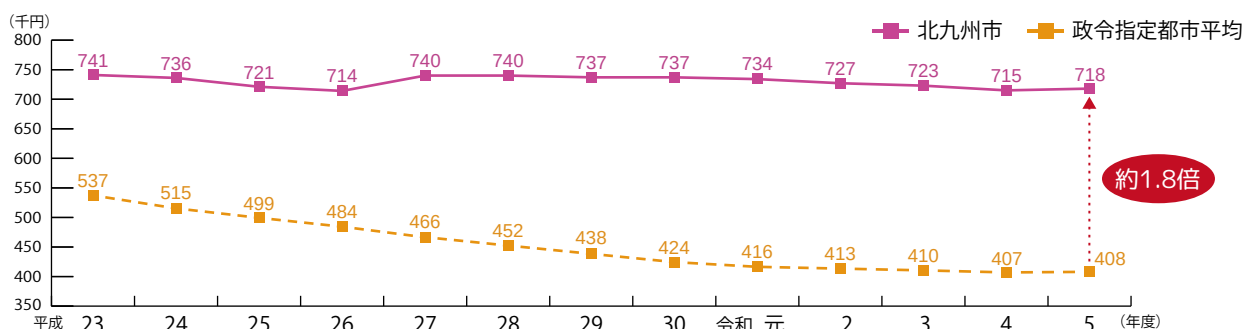


財政ひとくちメモ

【なぜ市債を発行するの?】長期間にわたって使用する公共施設をつくる場合の財源は、国や県からの補助金等のほかに、市債(市の借金)を発行してまかない、資金の平準化を図っています。その理由は、つくる費用を便益を受ける将来世代にも公平に負担してもらうという「世代間の公平」にあります。

市民一人当たりの市債(市の借金)残高の推移(普通会計/臨時財政対策債を除く)

市民一人当たりの市債残高は、他の政令指定都市は大幅に減少していますが、本市はあまり減少していません。令和5年度は、71万8千円で政令指定都市の中で最も高く、政令指定都市平均の約1.8倍となっています。

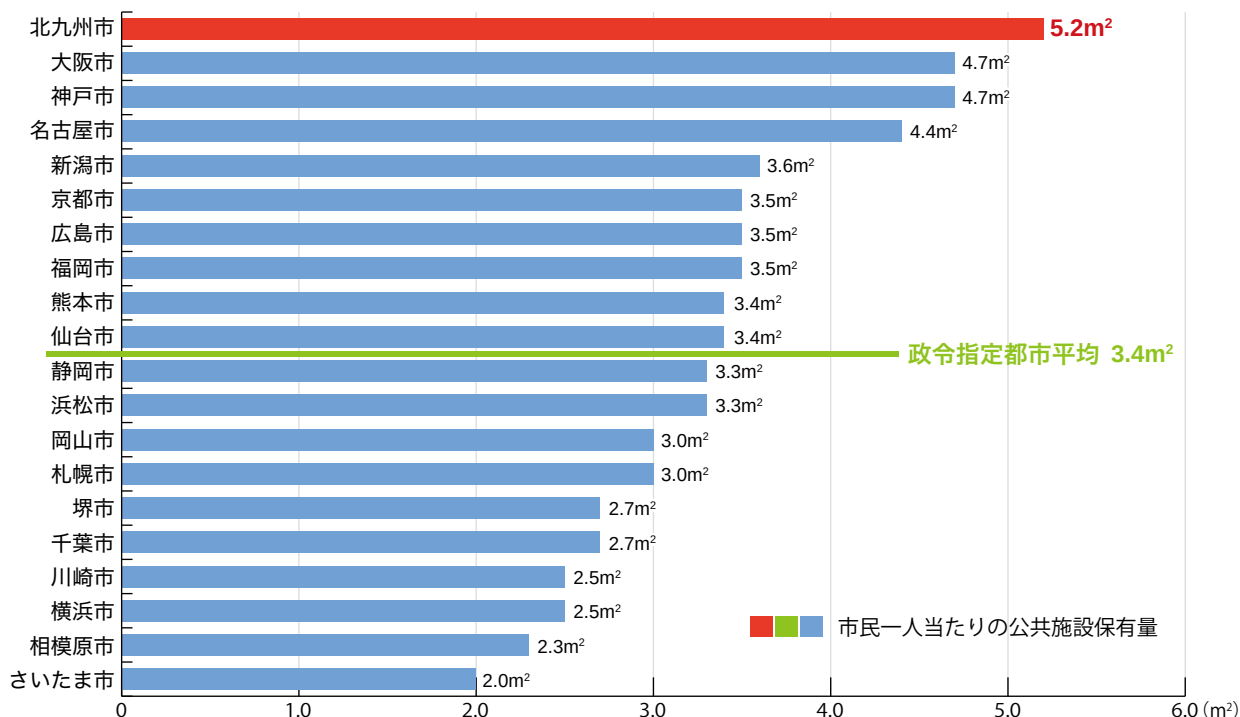


財政ひとくちメモ

【普通会計】一般会計と特別会計(公営企業会計等を除く)を合算し、会計間の重複額等を控除したものです。地方公共団体間の比較や時系列比較が可能となるように、地方財政統計上、統一的に用いられる会計区分です。

市民1人当たりの公共施設保有量(令和5年度)

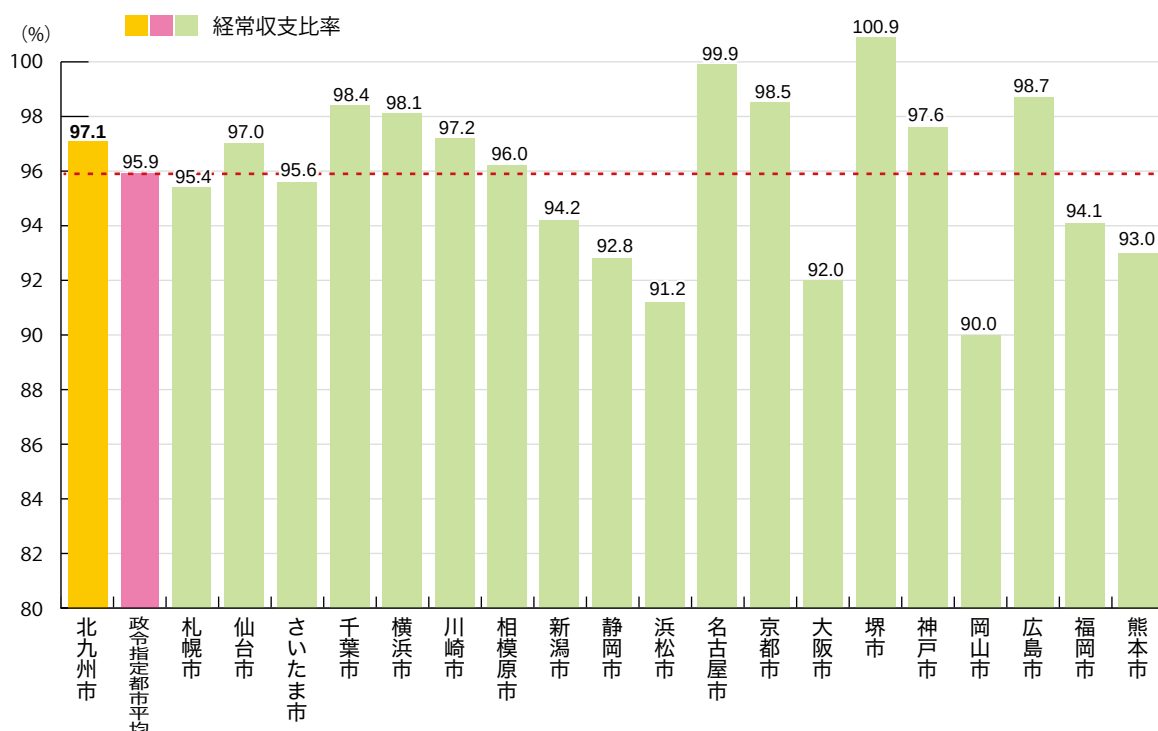
北九州市は昭和38年に5市対等合併で誕生した経緯から、旧5市の均衡を図りながら、市民が利用する公共施設をはじめとした社会資本の整備が進められてきました。そのため、**公共施設の市民一人当たりの保有量は 5.2m^2** と、政令指定都市の中で**1位**の多さとなっています。



経常収支比率(令和5年度)

経常収支比率とは、毎年必ず払わなければならないお金が、通常見込まれる収入に占める割合のことであり、比率が低いほど財政運営に弾力性（余裕）があり、政策的（自由）に使えるお金が多くあることを示しています。

経常収支比率は、20政令指定都市中、財政構造の弾力性が低い方から**9番目**となっています。



中期財政見通し(一般会計)【令和7年2月改訂】

今後の市政運営の参考とするため、現時点で判明している地方財政制度を踏まえ、令和7年度当初予算を基礎として一定の条件の下で機械的に当面5年間で試算したものです。

今後の財政運営にあたっては、市政変革を着実に進め、自主財源の確保や行政コストの縮減を図りつつ、次世代への投資、税源の涵養につながる政策に積極的に取り組むことが必要であると考えています。

(単位:億円)

項 目	令和7年度 当初予算	令和8年度 見込み	令和9年度 見込み	令和10年度 見込み	令和11年度 見込み
歳 入 合 計 ①	6,284	6,080	6,097	6,153	6,171
一 般 財 源 等	3,101	3,124	3,155	3,183	3,206
市 税	1,885	1,901	1,911	1,922	1,933
地方交付税等 (臨時財政対策債を含む)	825	810	849	868	880
そ の 他 (県税交付金等)	391	413	395	393	393
国 県 支 出 金	1,709	1,703	1,713	1,731	1,743
市 債 (臨時財政対策債を除く)	387	413	411	406	406
そ の 他	1,087	840	818	833	816
歳 出 合 計 ②	6,435	6,255	6,263	6,323	6,325
人 件 費	1,100	1,140	1,108	1,137	1,113
扶 助 費	1,749	1,769	1,790	1,812	1,835
公 債 費	680	692	695	721	709
うち臨時財政対策債を除く	470	473	476	504	491
投 資 的 経 費	605	650	650	650	650
維 持 補 修 費	87	87	88	89	90
繰 出 金	510	511	513	516	518
そ の 他	1,704	1,406	1,419	1,398	1,410
収 支 差 ③ (① - ②)	△151	△175	△166	△170	△154
決 算 に お け る 歳 入 増 ・ 歳 出 不 用 等 ④	100	100	100	100	100
市 政 変 革 の 取 組 み に よ る 改 善 効 果 ⑤	—	50	50	50	50
年 度 末 基 金 残 高 ⑥ (前年度末残高+③+④+⑤)	271	246	230	210	206

【参考】

福 祉 ・ 医 療 関 係 経 費 (扶助費+福祉・医療関係特別会計への繰出金)	2,239	2,260	2,283	2,308	2,333
---	-------	-------	-------	-------	-------

令和6年度特別会計・企業会計決算

特別会計決算

特別会計の実質収支は、20会計中16会計が黒字、4会計が歳入歳出差引きゼロとなっています。

(単位:百万円)

会 計 名	歳入総額 (A)	歳出総額 (B)	歳入歳出差引額 (形式収支) (C)=(A)-(B)	翌年度へ 繰越すべき財源 (D)	実質収支 (E)=(C)-(D)
国民健康保険	97,232	95,234	1,998	0	1,998
食肉センター	406	367	39	0	39
卸売市場	1,197	1,015	182	0	182
渡 船	604	440	164	0	164
土地区画整理	3,948	3,736	212	129	83
土地区画整理事業清算	2	0	2	0	2
港湾整備	8,769	4,263	4,506	15	4,491
公債償還	168,894	168,894	0	0	0
住宅新築資金等貸付	277	0	277	0	277
土地取得	1,956	1,956	0	0	0
駐 車 場	921	248	673	1	672
母子父子寡婦福祉資金	243	17	226	0	226
産業用地整備	1,381	697	684	0	684
漁業集落排水	43	35	8	0	8
介護保険	110,727	107,378	3,349	0	3,349
空港関連用地整備	190	1	189	0	189
臨海部産業用地貸付	670	670	0	0	0
後期高齢者医療	19,454	18,798	656	0	656
市民太陽光発電所	276	84	192	0	192
市立病院機構 病院事業債管理	2,311	2,311	0	0	0

企業会計決算

企業会計の損益収支は、6会計中2会計が赤字となっています。

(単位:百万円)

会 計 名	損 益 収 支	単年度実質収支	令和6年度末資金剰余
上水道事業	199	△ 192	4,142
工業用水道事業	434	△ 415	1,402
交通事業	11	41	551
病院事業	△ 143	1	51
下水道事業	△ 80	△ 263	3,372
公営競技事業	13,301	6,597	48,441

※病院事業会計は、門司病院の運営と旧若松病院等にかかる企業債の償還のみを実施しています。医療センター等の運営は平成31年4月1日に地方独立行政法人北九州市立病院機構へ移行しており、この会計には含まれません。

健全化判断比率等

下記の健全化判断比率（4つの指標）がそれぞれ一定の基準（「早期健全化基準」及び「財政再生基準」）を超えると、その程度に応じた財政健全化の対策が義務付けられますが、北九州市はいずれの指標もこれらの基準を下回っています。

QRコードはこちら→



【本市の健全化判断比率及び資金不足比率(令和6年度決算)】

指 標	内 容	北九州市の比率	早期健全化基準 (経営健全化基準)	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	— 実質黒字のため 比率なし	11.25%	20.0%
	②連結実質赤字比率	—	16.25%	30.0%
	③実質公債費比率	10.6%	25.0%	35.0%
	④将来負担比率	143.0%	400.0%	
⑤資金不足比率	公営企業ごとの資金の不足額の 事業の規模に対する割合です。	— 資金不足を生じて いないため比率なし	(20.0%)	

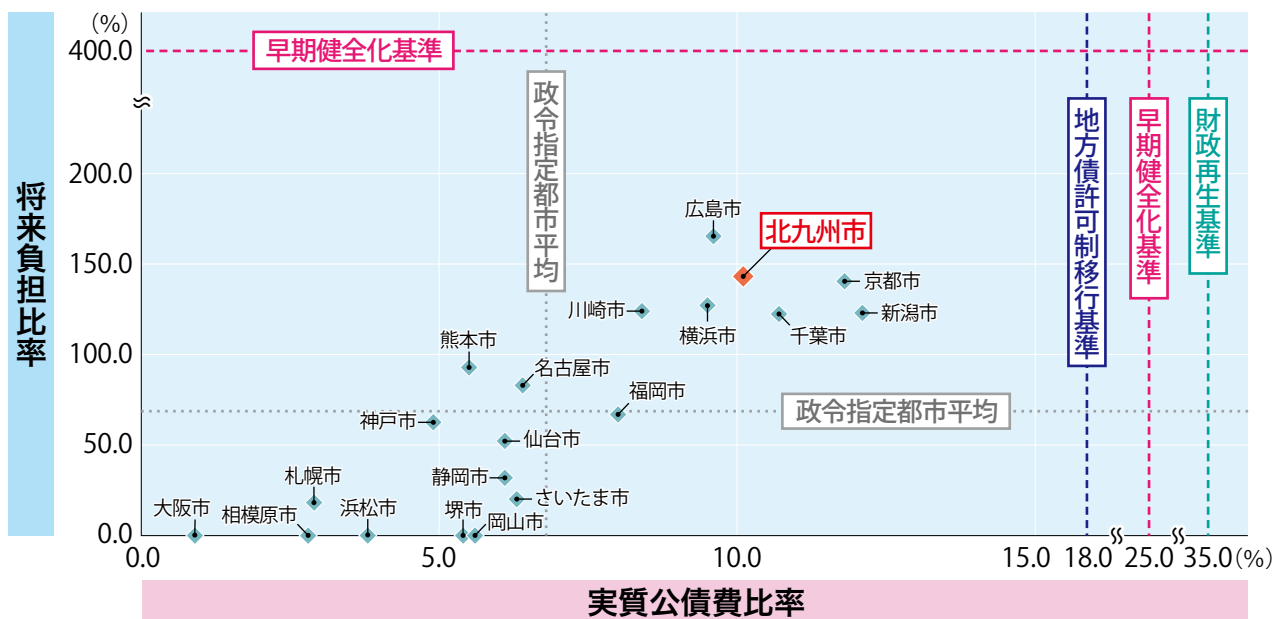
* 実質公債費比率は、「地方債許可制移行基準」(18.0%)を超えると、市債の発行に総務大臣の許可が必要となります。

【実質公債費比率と将来負担比率における政令指定都市の状況(令和5年度決算)】

健全化判断比率は改善傾向にあるものの、市債残高の高止まり等を反映し、実質公債費比率、将来負担比率いずれも**政令指定都市平均より厳しい水準で推移**しています。

実質公債費比率は、20政令指定都市中、健全性が高い方から**17番目**

将来負担比率は、20政令指定都市中、健全性が高い方から**19番目**となっています。



財政ひとくちメモ

【実質公債費比率】 借金返済のためのお金、通常見込まれる収入に占める割合のこと。この比率が高いほど、税金などの多くを借金返済に充てているため、他の行政サービスへ予算を充てることができない。

【将来負担比率】 将来負担しなければならないお金、通常見込まれる収入に占める割合のこと。将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す。

財務書類(一般会計等)【令和5年度決算】

財務書類とは、これまでの決算情報では見えなかった資産や負債の情報、現金支出を伴わない減価償却費などの見えにくいコスト情報を企業会計的手法により作成した書類です。

平成28年度決算からは、総務省が示した「統一的な基準」に基づいて財務書類を作成・公表しています。

財務書類は4つの表(貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書)で構成されており、下記のとおり相互に関係しています。

詳細は、市のホームページをご覧ください。

QRコードはこちら→



資金収支計算書	貸借対照表	純資産変動計算書	行政コスト計算書
前年度末資金残高 39億円 業務活動収支 375億円 投資活動収支 △420億円 財務活動収支 45億円 本年度資金収支額 資金の変動額 △1億円 本年度末資金残高 38億円 +本年度末歳計外現金残高 39億円	資産 2兆7,173億円 市民の財産 うち現金預金 77億円 負債 1兆3,126億円 将来世代の負担 純資産 1兆4,047億円 過去及び現世代の負担	前年度末純資産残高 1兆3,910億円 純行政コスト(△) △4,631億円 財源 4,813億円 資産評価差額等 △46億円 本年度純資産変動額 純資産の変動額 137億円 本年度末純資産残高 1兆4,047億円	経常費用 4,977億円 経常的なサービスにかかったコスト 業務費用 2,460億円 移転費用 2,517億円 経常収益 335億円 受益者負担 純行政コスト 4,631億円 市税等でまかなう額
行政活動に伴う資金の流れを「業務活動収支」「投資活動収支」「財務活動収支」という性質の異なる3つの活動に分けて示したものです。	市民サービス提供のために保有する資産と、その資産をどのような負債・純資産でまかなってきたかを表しています。	純資産(資産－負債)が1年間でどのように変動したかを表しています。	行政サービスにかかるコストが、受益者の負担でどうまかなわれたかを示したものです。

※億円未満を四捨五入して表示しているため、合計金額が一致しない場合があります。

いくつかの財政指標を分析します。

① 資産形成度に着目した分析

市民一人当たり資産額 297万円

【算定式】＝ 資産合計 ÷ 住民基本台帳人口

市民一人当たりの資産額は、政令指定都市の中では2番目に大きな額となっており、他の政令指定都市より多くの資産を保有していることがわかります。これは、本市が昭和38年の五市合併の影響等で、多くの公共施設を保有していることを表しています。



② 持続可能性(健全性)に着目した分析

市民一人当たり負債額 143万円

【算定式】＝ 負債合計 ÷ 住民基本台帳人口

この指標を類似団体と比較することで、財政の持続可能性を評価することができます。本市は、市民一人当たりの負債額も政令指定都市の中で最も大きく、他の政令指定都市に比べ、多額の負債を持っていることがわかります。上記の、市民一人当たり資産額と合わせて分析すると、本市は、多額の負債により、多くの公共施設を保有していると考えられます。今後は、これらの公共施設の老朽化に対し、いかに負債を増やさず対応していくかが重要です。



③ 公共施設等の老朽度に着目した分析

有形固定資産減価償却率 72.3%

【算定式】＝ 有形固定資産の減価償却累計額 ÷ 資産取得額

この指標は、建物や工作物等の固定資産が耐用年数に対し、どのくらい期間が経過しているのかを表します。この数値が高いほど老朽化が進んでおり、大規模改修や建て替え等が必要になる可能性が高くなります。本市は、有形固定資産減価償却率が年々増加傾向にあり(令和4年度:71.6%)、政令指定都市の中で2番目に高い値となっています。今後は、限られた財源の中で、施設の老朽化対策を講じていく必要があります。

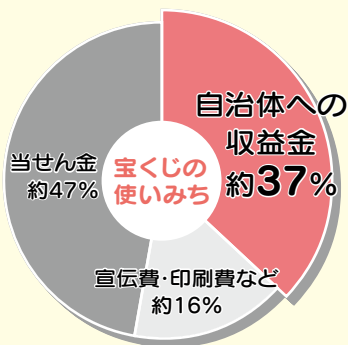


ご存知ですか？

これも北九州市のまちづくりに役立っています

北九州市内で販売された宝くじ

北九州市内で販売された宝くじの一定割合が北九州市の収入となり、高齢社会・少子化対策事業や、環境保全、芸術・文化振興など様々な事業の財源となっています。



北九州市の収入となり、まちづくりの財源となっています。

令和7年度 宝くじ販売スケジュール

名称	販売期間
実りの秋くじ	10/20(月) ～ 11/18(火)
年末ジャンボ	11/21(金) ～ 12/23(火)
初夢宝くじ	12/24(水) ～ 1/20(火)
新春運だめしくじ	1/14(水) ～ 2/2(月)
バレンタインジャンボ	2/3(火) ～ 3/6(金)
春一番くじ	3/7(土) ～ 3/31(火)

※上記のほか、数字選択式宝くじ（ロト6・ロト7・ミニロト・ナンバーズ3・ナンバーズ4・ビンゴ5）やインターネット専用くじは、毎日発売しています。また、通常くじとスクラッチは上記期間以外でも販売しています。

宝くじは、ぜひ北九州市内でお買い求めください。

競輪事業・モーターボート競走事業の収益金

公営競技事業（競輪事業・モーターボート競走事業）の収益金は、子育て環境や教育の充実、文化・スポーツの振興などにつながる事業の財源となっています。



北九州市
小倉競輪



BOAT RACE 若松

収益金の一部



子育て環境や教育の充実、文化・スポーツの振興などの財源となっています。

昭和38年以来、小倉競輪・ボートレース若松の収益金約1,800億円が北九州市のまちづくりの財源として役立てられています。



平成30年12月には、若戸大橋・トンネルの無料化実現のための財源として、ボートレース若松の収益金約25億円が活用されました。



Kitakyushu **Action!**

動かせ、未来。北九州市

発行・編集

北九州市財政・変革局財務部財政課

〒803-8501

北九州市小倉北区城内1-1

TEL : 093-582-2002

FAX : 093-582-2070

公式ホームページでもご覧頂けます。

QRコードはこちら▶



<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/zaisei/09000077.html>